



新しい眼で見る中国-その4 “癒し”

中国駐東京観光代表処

日中平和友好条約締結40周年にあたる2018年、中国駐東京観光代表処では「新しい眼で見る中国」と題し、“大自然”、“古文明”、“三国志”、“西遊記”、“癒し”という5つの視点で中国の魅力を紹介いたします。最後となる今回は、中国の“癒し”をテーマに代表的なスポットをご紹介します。

■ 癒しの旅を提案

中国南東部の上海、江蘇、浙江、福建、広州、海南などの沿岸地域や江西省などの内陸部の省・都市は、「住む」、「学ぶ」、「休む」、「遊ぶ」の全てに適した場所として人気です。温暖な気候に恵まれているこのエリアには、近代的な裕福さ、人々の暮らしや食、自然景観など、様々な癒しの要素が揃っています。



上海

長江が海に流れ込む揚子江デルタに位置する中国最大の商工業都市であり、重要な金融センター、貿易と水運の拠点です。古くから外国との窓口となっており、19世紀ごろには外国の租界が作られ、娯楽文化が発達し「魔都」と呼ばれました。当時の建築物が雰囲気ある上海の町を彩っています。近年は租界時代など年代物の建物をリフォームし、新しいスポットとして再開発するのが流行しています。



夜の黄浦江からみる夜景は、租界時代の歴史的建築物とライトアップされる浦東の近代的な超高層ビルの両方をお楽しみいただけます。

中国で最も高い超高層ビル「上海中心大廈」眼下に広がる絶景は、まるでジオラマの模型のよう。



上海には、19世紀の租界時代に建てられた「老洋房」(古い洋館)が、ホテルやレストランなどに形を変え、そのままの姿で残っています。

江蘇省

上海の北西、長江と淮河の下流、黄海に面する沿海都市。河川や運河が縦横に走り、湖が点在する実り豊かな地域で、古くから「魚米の里」の別名が知られています。現在でも経済的に発展し、日系始め海外企業の進出も少なくありません。一方で江南の水郷地帯独特の古い町並みが多く残っています。



今も重要な物流のルートである「大運河」は、その美しい景観が多くの観光客を魅了しています。



世界遺産にも登録されている「環秀山莊」は、清の時代に作られた小さいながらも見どころ満載の美しい古典庭園です。



蘇州城築城時に作られた8つある水門の一つ「盤門」の周りは公園として整備され、市民憩いの場となっています。運河側から望むライトアップされた「盤門」もおおすすめです。

浙江省

東南沿海にあり上海の南に位置します。歴史的に人材や文化などの輩出が多く見られます。有名なものは書道のメッカ「蘭亭」、中国緑茶の代表格「龍井茶」、魯迅の故郷で中国を代表する酒の名前にもなった「紹興」など。水郷の町並みが歴史風情を醸しています。



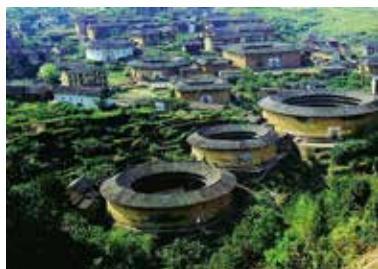
淳安县に位置する「千島湖」は、1959年の中国初の大型水力発電所建設時に造られたダム湖です。美しい景色が楽しめる見どころが多く、国家級風景名勝区にも指定されています。



世界遺産「西湖」周辺には風光明媚で散策路が整備され、外資系リゾートホテルも多く、のんびりと過ごせる癒しスポットです。蘇堤春暁、雷峰夕照などの西湖十景と三潭印月などの3つの小島が世界的に有名です。

福建省

東南沿海に位置し、台湾と海峡を隔てて相望んでいます。海のシルクロードの起点ともいわれ、古くから中国と世界が交流する重要な窓口であり拠点でありました。またここから世界へと飛び出した華僑の里でもあります。



地震対策、防火、獣や外敵の襲来に備えて造られた大規模な山岳民家建築である「土楼」は、百何十世帯と一緒に住むこともあり、外との接点を持たずに数ヶ月籠城できたといわれています。

世界遺産「中国丹霞」の中で最大規模を誇るのが福建省泰寧の丹霞地形です。高さ100mを超す垂直に切り立った絶壁、無数の穴を持つ不思議な岩肌の巨岩、ユニークな奇岩等々が、他では見られない特徴的な景観を作り出しています。



広東省

南中国海に臨み、香港とマカオ両特別行政区とは境を接しています。いち早く改革開放を実施した経済区です。珠江デルタの広州・珠海・スワトウ・湛江・仏山・肇慶などが主要経済都市です。



開平市内の「望楼」は、縦横数十kmにわたって並び、独特な景観をなしています。特に魅力的で際立っているのは屋根で、中洋混合式、ローマ式アーチ、アメリカ城砦式、欧米の別荘式、庭園式など、多種多様なスタイルが見られます。

「丹霞山」は、世界遺産「中国丹霞」の中で景色が最も美しく、またネアンデルタール人の化石が発見されるなど遺跡としての価値も高いことで知られる丹霞地形です。面積290km²、主峰である巴黎の海拔は618m。



江西省

長江中下流の南岸に位置し、中国最大の淡水湖、鄱陽湖を擁する江西省。鄱陽湖は中国名山に囲まれ、廬山と井岡山、竜虎山、三清山を映し出し美しい風景を作り上げています。中国国内だけでなく、ヨーロッパの要人達が競って別荘を建てる程に、環境の素晴らしい場所です。また景德鎮は古い磁器制作史と、それによる磁器文化をもって広く世界に名をはせています。



婺源県の町「江湾」には、今もなお独特の文化や風習が色濃く残る中国の中でも古い町の一つとして知られています。



中国神話に登場する七人の天女「七仙女下凡」のモデルとなった伝説の池として知られる「仙女湖」は、四季を通じて様々な表情を見せてくれます。

海南省

海南省は中国最南端に位置し、海南島・西沙群島・中沙群島・そして南中国海に浮かぶ多数の環礁から形成されています。北緯16～20度、東経109～111度で、ハワイの緯度とほぼ同じ。海岸線総延長は1,528km。島の中南部は五指山中心にした山岳地帯で温泉もたくさんあります。



三亚市内に隣接して海岸線が22km続きます。高級リゾートホテルも数多く建ち並び、あらゆるマリンスポーツ・アクティビティが一年中楽しめる中国有数のビーチリゾートです。



「南山文化旅游区」は、熱帯海洋風光、中国仏教文化、福寿文化、歴史古跡を融合した大型テーマパーク。園内には国宝も。

安徽省

長江と淮河流域に広がった華東地区の一部。世界遺産の黄山を筆頭に、中国仏教4大名山の九華山、道教4大名山の斎雲山、中国名山の天柱山など美しい山に囲まれた地域です。かつては徽州と呼ばれ、古代中国の商業史に重要な地位を占めていました。



奇松、奇石、雲海、温泉の4つの景観が複合して独特の景観をつくりあげている世界遺産「黄山」は、中国で最も美しい山として旅行者を魅了し続けています。



黄山の西南麓にある「宏村」は、一風変わった古村落。山林野趣もあれば、ひなびた水郷の風情もあり、西遞村とともに世界文化遺産に登録されています。